

学び舎通信

遠くなった過去と遠い未来をつなぐために

今年の8月15日で、72回目の終戦記念日を迎えました。夏の甲子園では、8月15日正午になると黙祷（もくとう）をささげる時間があります。8月15日前後は、先の戦争に関する特集も組まれます。みなさんも戦争について知っていることがあると思います。

しかし、戦争の話というのは、本やテレビからだけでは伝わらないものです。

当時の日本国内の空気がどういったものだったか、どんな暮らしをしていたのか。みなさんの身内の方で戦争経験をお持ちの方がご健在なら、ぜひ話を聞いておいてください。

沖縄にあるひめゆり平和記念資料館では、ひめゆり学徒隊だった方々が、語り部の仕事をされてきました。私もお話を聞かせていただきました。しかし、2年前に引退されています。1945年生まれの方で、もう72歳です。戦争の体験を直接聞くことは、年々難しくなっていくことでしょう。

みなさんにもいつか平和のバトンを遠い未来へつなぐ役目を担う日がきます。自分が見聞きした話を次の世代に伝えていってほしいと思っています。

見て学ぶことを大切に

お盆の時期を利用して、私は毎年、フィールドワークに出かけます。昨年の夏は、青森県・宮城県に出かけました。

特に印象的だったのは、青森県では三内丸山遺跡、宮城県では東日本大震災の被災地の一つである石巻市立大川小学校の旧校舎です。

三内丸山遺跡は、青森市の高台にある大規模な縄文時代の遺跡です。長さ20メートルの竪穴住居、高さ10メートルをこえる大型掘立柱（ほったてばしら）建物。その大きさから当時の繁栄の様子が目に浮かんできました。

石巻市立大川小学校の旧校舎は、ニュースや読んだ本からもっと高台にある学校だと想像していました。あまり高さを感じない堤防、その向こう側になみなみとした水量で流れる広い川幅の北上川。旧校舎の前の道から堤防まで何も残っていません。校舎の後ろには、裏山がそびえています。原爆ドームを見たときと同じ衝撃を覚え、旧校舎の前で手を合わせました。「百聞は一見に如（し）かず」と言います。今年は福井県・石川県を訪れる予定です。みなさんが夏休みに何を見て、何を学んだのかも聞かせてください。

（文責：水野千広）

始業式について

9月1日（金）の予定は、次のようになっています。

ST	8:30～ 8:35
始業式	8:45～ 9:05
LT	9:10～10:00
学年集会	10:05～10:25
避難訓練	10:35～11:10

※ 避難訓練後、「引き取り」でない生徒は、教室に荷物を取りに戻って下校になります。「引き取り」の生徒は、担任からの確認と指導後に下校します。お迎えの必要は、ありません。

※ 1日に部活動がある場合、開始時刻によっては弁当が必要になります。